



新型肺炎で「面会禁止」、家族とビデオのやりとり

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護 (97)】福祉施設のロックダウン 懸念と気付き

公開日：2020/04/06 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム理事長)

新型コロナウイルス感染症は介護施設にも拡がり、明日は我が身かと憂慮しているこの頃です。

そんな私たちのグループホームでは、2月下旬に面会者の制限を設けました。



[morgueFile license](#)

風邪症状や体温を計測し発熱が認められる場合は、面会を控えていただくようにしたのです。

それで様子を見ていましたが、3月に入って全国的に感染が拡大したため、緊急時以外の面会はお断りすることにしました。

施設をロックダウンすること（面会禁止）は、高齢の利用者の生命を守るためにやむを得ないことですが、心配なこともありました。

今までインフルエンザやノロウイルスなどの感染症では、面会禁止が長期化することはありませんでした。しかし、この度の新型コロナウイルス感染症は、いつになれば面会禁止を解除できるのか先が読めないのです。

長期的にご家族などが面会に来なくなると、認知症利用者の心身に悪影響が出る可能性があります。

特に、ご家族が頻回に訪ねてくる利用者は、急に会えなくなって不安がつるこ

とでしょう。

それでなくても利用者は、全員のスタッフがマスクをしていたり、テレビや新聞などの情報を見たり聞いたりして、いつもとは違う周囲の変化を肌で感じていらっしゃいます。

また、長期の面会禁止は利用者だけでなく、ご家族にも影響を及ぼします。

私事ですが、昨年昇天した母が他所の施設を利用している時、感染症が原因で面会ができなくなった期間がありました。

ほぼ毎日のように施設を訪問していたので、時間に余裕ができて身体は楽になったのですが、なんだか落ち着きませんでした。

母は寂しがっていないか、ちゃんにご飯は食べているか、ついに過保護な娘に化してしまいました。

だから、ご家族の気持ちが痛いように分かるのです。

そこで、会えなくなった利用者のご家族の不安を取り除くために、介護スタッフが取り組んだことがあります。

一つ目は、利用者からのビデオメッセージをご家族に見ていただくことです。

早速、でき上がったビデオメッセージを五島綾子さん（仮名87歳）のお嫁さんにお見せしました。

すると驚いたことに、ビデオメッセージでお義母さんにお返事をくださいました。

「感染症が治ったら、また孫と一緒に会い行くので、それまで元気でいてくださいね」。

心温まるビデオメッセージに、目頭が熱くなったのはお義母さんだけではありません

せんでした。

新型コロナウイルス感染症で緊張を強いられている私たちも、お嫁さんの柔和な笑顔で慰められたのです。

二つ目は、ご家族との文通です。

駿河裕次郎さん（仮名85歳）は、字を読んだり書いたりできるので、奥様から送られてきた手紙を、照れくさそうに何度も読み返していました。

三つ目は会話ができる利用者は、ご家族と電話でお話をする事です。

林田久仁子さん（仮名82歳）の弟さんは、毎日のように決まった時間に電話をくださって、お姉さんを励ましていました。

日々の暮らしを撮った利用者の写真は、これまで通りご家族に郵送することにしました。

どれもこれも特別なことではなく、少し工夫をして時間を捻出すればできることばかりです。

しかし、このような緊急事態にならなければ、ビデオメッセージなど思い浮かびませんでした。

さらに、今までのやり方に加え、利用者の日常を動画で配信したり、リアルタイムで会話ができるよう環境を整えると、利用者やご家族の生活に化学反応が起きるかもしれません。

実は感染症で医療崩壊が起こった時、最初に見捨てられるのは認知症の高齢者ではないかと、私は疑心暗鬼になっていました。

でも、今も昔も変わらないお互いを思いやる家族や夫婦の愛にふれ、俄然勇気がわいてきました。

新型コロナウイルスは頻繁に変異するという説もありますが、私たちもそれに負けず生活スタイルや価値観を変容させて、この危機を乗り越えましょう。

乗り越えた先には、また違った新しい風景が開けると信じて。

(注) 事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子のバックナンバー](#)
- > [緊急事態宣言が8日なら、武漢の解放日で日中逆転](#)
- > [80年代以降、軽から小型車に進出](#)
- > [新型コロナ感染、医療崩壊寸前](#)
- > [戦前から自動車研究、2輪から4輪メーカーへ](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム理事長）

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設運営。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。2019年ニュースソクラのコラムを加筆・修正して「尊厳ある介護」を岩波書店より出版。

いいね！ 0

シェア 0

ツイート

LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

[FAQ](#)

編集長プロフィール

[利用規約](#)

利用案内

[プライバシーポリシー](#)

著作権について

[特定商取引法に基づく表示](#)

メーカーソクラ

[お問い合わせ](#)

お知らせ一覧

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved